

## ニューズレター No.10

日本リメディアル教育学会  
<http://www.remedial.jp/> 発行人 小野博  
2007（平成19）年11月7日発行

### 紀要投稿の受付け開始

前号のニューズレターで、10月中旬ごろの受け付けを開始すると予告しましたが、学会のウェブページ作業の遅れのため、受け付けができなくて、学会委員の各位には、ご迷惑をおかけしております。深くお詫びを申し上げます。

学会のウェブサイトの準備が整うまで、臨時のウェブサイトを立ち上げました。

<http://home.kanto-gakuin.ac.jp/~kanada/jade/>

上記のサイトに投稿要領が掲載してあります。まず、その要領をよく読んでください。原稿種別は以下の表のとおりです。

#### 原稿種別の名称

投稿原稿種別	ページ数
論文（研究および実践）	6から8頁
研究ノート	4から6頁
教材解説	2から4頁
会員の本紹介	1頁

投稿者はPDFファイルで提出してください。

投稿先ですが、[toukou@remedial.jp](mailto:toukou@remedial.jp)です。題名に、かならず「リメ学投稿」と入れてください。

## 第3回全国大会レポート

8月31日（金）、9月1日（日）に、西南学院大学において行われました。

第1日目午前中には、教室で実践授業を疑似体験できる「デモ授業」が行われ、入りきれないほどの人数の参加者が集まりました。学生役になった参加者からは「学生の気持ちになって授業を考えることができた」などの感想も聞かれました。午後は、ハワイ大学の Kristine Korey-Smith 先生による招待講演、杉並区和田中学校校長の藤原和博先生による特別講演、さらに「物理分野におけるリメディアル教育」を考えるシンポジウムⅠが開かれました。子どもたちを引き込む魅力ある授業を具体的に紹介くださる藤原先生のお話についている私たちも知らず、知らず引き込まれていきました。夕刻から催された懇親会は、140名を超える出席者が集う会となりました。

第2日目は、「短大における学習支援」「サービラーニング」それぞれをテーマにしたミニシンポジウムⅠ・Ⅱ、「日本の初年次教育」をテーマにしたシンポジウムⅡが行われ、それぞれの会場で活発な議論が交わされました。

今大会で、研究発表、実践報告は60タイトルにおよび、特に各機関での実践例が数多く紹介され、またシンポジウムでは活発な議論が展開されました。専門分野やバックグラウンドは異なっても目的を同じくする参加者が一堂に会し、意見を交わすことのできるこの全国大会は、欠かすことのできない会であると改めて実感いたしました。（松本歯科大学 瀬村江里子）